

赤い風船

青空に赤い風船が吸い込まれて行く  
長い間青空に溶け込まなかった赤い風船――  
幼子の手を離れ  
熱気球のように上がって行くのを  
私は見ていた  
この子の小さな悲しみを  
私自身も味わっているような気がしていた  
まるでゼリービーンズを  
舌の上で転がすように  
切なくも甘美な思い出が  
よみがえって来るような感覚を